

前橋工科大学履修規程

平成25年4月1日制定

公立大学法人前橋工科大学規程第90号

(趣旨)

第1条 この規程は、前橋工科大学学則（平成25年規則第2号。以下「学則」という。）第10条、第12条及び第29条第2項の規定に基づき、授業科目名等の細目、履修方法の細目及び卒業の要件の細目に関し必要な事項を定めるものとする。

(履修の制限等)

第2条 学生は、学則第11条第1項の規定により承認を受けた授業科目以外の授業科目を履修し、単位を修得することはできない。

2 学則第11条第1項の規定により履修の承認を受けた授業科目は、次の場合に限り変更することができる。

(1) 時間割が変更になった場合

(2) 履修指導上の観点からその必要が認められた場合

3 同一の授業科目を同一学期に複数開講している場合は、指定の授業時間に受講しなければならない。

4 学生は、授業時間の重複する授業科目を同時に履修申請することはできない。

(授業開講時間帯)

第3条 授業は、月曜日から金曜日までの1時限から6時限までの時間帯で開講する。

2 授業時間については、別に定める。

3 前2項の規定にかかわらず、学長は、教授会の意見を聴いて、授業開講時間帯及び授業時間を変更し、開講することができる。

(専門教育科目の履修)

第3条の2 専門教育科目のうち、配当年次が2年次以上の科目の履修については、本学に1年以上在学（編入学生を除く。）し、教育プログラムへの配属が確定した学生について承認する。

(卒業研究の履修)

第4条 卒業研究の履修は、本学に3年以上(第2年次に編入学した学生の場合は2年以上、第3年次に編入学した学生の場合は1年以上)在籍し、次に掲げる条件を備えている学生について承認する。

(1) 1年次及び2年次の必修科目の単位を全て修得していること。

- (2) 別表に定める教養基礎科目の卒業要件の単位を全て修得していること。
- (3) 別表に定める合計の卒業要件の単位の4分の3以上を修得していること。
- (4) 教育プログラムごとに別に定める要件を満たしていること。

(他学群の授業科目等の履修)

第5条 学生が、学則第11条第3項の規定により、他学群の授業科目を履修しようとするとき、又は所属学群の他の教育プログラムの授業科目（以下「自由科目」という。）を履修しようとするときは、あらかじめ当該授業科目の担当教員の承認を得なければならない。

2 他学群の履修できる授業科目は、学群間の協議により別に定める。

(大学院の授業科目の履修)

第5条の2 学生は、学則第11条第5項の規定により、本学大学院工学研究科の授業科目を履修しようとする場合は、あらかじめ進学を希望する専攻に係る専攻主任の推薦及び学長の承認を受けなければならない。

2 前項に定めるもののほか、大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他大学等の授業科目の履修)

第6条 学生が、学則第15条第3項の規定により、他大学等の授業科目を履修しようとする場合で、教育上有益と認める他大学等の授業科目の単位の修得又は単位互換協定大学の授業科目の単位の修得については、別に定める。

(授業科目及び卒業要件等)

第7条 工学部、各学群及び各教育プログラムにおける、授業科目、単位数及び卒業要件等は、別表のとおりとする。

2 自由科目及び他学群並びに他大学等において修得した単位のうち、卒業要件として認定される科目区分及び単位数は、次のとおりとする。

(1) 自由科目及び他学群 専門教育科目の専門科目として10単位まで

(2) 他大学等 教養基礎科目の人文・社会科学科目として10単位まで

(特別講義)

第8条 前条に定めるもののほか、教育上有益と認められる場合は、学長は、教授会の意見を聴いて、特別講義を開講することができる。

(授業科目の単位認定)

第9条 授業科目の単位の認定は、履修の承認を得た授業科目に限り行うものとする。ただし、履修の承認を得た授業科目の出席時間数が、当該授業科目の全時間数の3分の2に満たない場合は、原則として単位を認定しないものとする。

(不正行為に対する措置)

第10条 学則第15条第2項に規定する試験等において不正行為のあった者につい

ては、当該学期の科目の単位の履修を全て無効とするほか、学則第54条第1項の規定による懲戒を行う。

(再履修)

第11条 学則第15条第1項の規定による単位の修得が認められなかった授業科目は、再度申請し、履修することができる。

(追試験)

第12条 学則第18条第2項の規定により追試験を受けることを希望する学生は、追試験願及び試験を受けられなかった理由を証する文書を、指定された期間内に学長に提出しなければならない。

(学習の評価)

第13条 学則第19条に規定する学習の評価は、次のとおりとする。

- (1) S 90点以上
- (2) A 80点以上90点未満
- (3) B 70点以上80点未満
- (4) C 60点以上70点未満
- (5) D 60点未満

2 学生は、学生本人の成績評価について疑義があるときは、異議を申し立てることができる。

(書類の様式)

第14条 追試験願の様式は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学の設置及び管理に関する条例（平成8年前橋市条例第34号）に基づき設置された前橋工科大学（以下「本学」という。）に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学するものについては、この規程の規定にかかわらず、廃止前の前橋工科大学履修規程（平成13年工科大学訓令甲第20号）の例による。

3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

4 施行日の前日において本学に在学する学生（同日をもって卒業する者及び除籍される者を除く。）になされた履修、成績評価、試験その他の行為は、この規程の相当規定に基づきなされたものとみなす。

附 則（平成 26 年 2 月 10 日 規程第 1 号）

（施行期日）

- 1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学するものについては、この規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（平成 27 年 1 月 17 日 規程第 2 号）

（施行期日）

- 1 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学するものについては、この規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（平成 27 年 3 月 26 日 規程第 7 号）

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 1 月 15 日 規程第 1 号）

（施行期日）

- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学するものについては、この規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（平成 28 年 12 月 28 日 規程第 号）

（施行期日）

- 1 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学するものについては、この規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（平成30年1月11日規程第2号）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月21日規程第7号）

(施行期日)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学するものについては、この規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（令和2年1月9日規程第1号）

(施行期日)

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学する者については、この規程の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の別表の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（令和2年8月28日規程第18号）

この規程は、令和2年9月1日から施行する。

附 則（令和2年12月25日規程第23号）

(施行期日)

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において前橋工科大学に在学する学生で、施行日以後も引き続き在学する者については、この規程の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 施行日以後に編入学、再入学又は転入学をする者については、この規程の別表の規定にかかわらず、当該者が編入学、再入学又は転入学をする年次に属する学生の例による。

附 則（令和3年6月29日規程第10号）

この規程は、令和3年7月1日から施行する。

附 則（令和4年1月26日規程第1号）

1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

2 改正後の前橋工科大学履修規程（次項において「改正後の規程」という。）の規定は、この規程の施行の日（以下「施行日」という。）以後に本学に入学する者について適用し、施行日前に本学に在学し、施行日以後も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

3 令和4年度若しくは令和5年度に編入学若しくは転入学をする者又は令和4年度から令和6年度までの間に再入学をする者については、改正後の規程の規定にかかわらず、これらの者が編入学、転入学又は再入学をする年次に属する学生の例による。

別表（第4条、第7条関係）

1 工学部共通

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
教養基礎科目	人文・社会科学科目	歴史学	1・2		2		○		12単位以上を修得
		地理学	1・2		2		○		
		美術	1・2		2		○		
		法学	1・2		2		○		
		日本国憲法	1・2		2		○		
		経済学	1・2		2		○		
		経営学	1・2		2		○		
		心理学	2・3		2		○		
		哲学	2・3		2		○		
		文学	2・3		2		○		
		文化人類学	2・3		2		○		
		科学技術史	2・3		2		○		
		社会学	2・3		2		○		
		マスメディア論	2・3		2		○		
	国際関係論	2・3		2		○			
	保健体育	保健体育	1		2			◎	英語4科目8単位を含む10単位以上を修得
	外国語科目	英語A	1	2			○		
		英語B	1	2			○		
		英語C	2	2			○		
		英語D	2	2			○		
		英語E	2・3		2		○		
		英語C アドバンスト	3・4		2		○		
		フランス語	2		2		○		
		ドイツ語	2		2		○		
	中国語	2		2		○			
	自然科学科目	微分積分学Ⅰ	1	2			○		必修3科目6単位及び物理学Ⅰ、化学Ⅰ並びに生物学Ⅰから2科目4単位を含む20単位以上を修得
		微分積分学Ⅱ	1	2			○		
		線形代数Ⅰ	1	2			○		
		線形代数Ⅱ	1		2		○		
		解析学基礎	2		2		○		
		ベクトル解析	2		2		○		
		微分方程式	2		2		○		
		確率統計	2		2		○		
関数論		2		2		○			
物理学Ⅰ		1		2		○			
物理学Ⅱ		1		2		○			
物理学Ⅲ		2・3		2		○			
物理学Ⅳ		2・3		2		○			
化学Ⅰ		1		2		○			
化学Ⅱ		1・2		2		○			
生物学Ⅰ	1		2		○				
生物学Ⅱ	1・2		2		○				
地学	1・2		2		○				
天文学	1・2		2		○				
専門教育科目	工学基礎科目	技術者倫理	1	2			○		必修5科目10単位を修得
		環境エネルギー概論	1	2			○		
		地域文化論	1	2			○		
		ものづくり概論	1	2			○		
		データサイエンス概論	1	2			○		
小計(49科目)		—	24	74		—		52単位	
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。								

2 建築・都市・環境工学群
(土木・環境プログラム)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
学群共通科目	建築都市環境工学概論Ⅰ	1	2			○			必修7科目18単位を含む26単位以上を修得
	建築都市環境工学概論Ⅱ	1	2			○			
	環境の科学	1	2			○			
	図学デザイン	1	2				◎		
	構造力学基礎	1	2			○			
	情報処理技術概論	1	2			○			
	循環システム工学	2		2		○			
	デザイン史Ⅰ	2		2		○			
	情報メディアデザイン	2		2		○			
	空間造形基礎	2		2			◎		
	人間工学基礎	2		2		○			
	景観・環境基礎論	2		2		○			
	建設産業と生産	2		2		○			
	計画数理	2		2		○			
	生活空間デザイン基礎	2		2		○			
	プロダクトデザイン基礎	2		2		○			
	卒業研究	4	6					☆	
専門教育科目	土木構造力学Ⅰ	2	2			○			必修18科目36単位を含む52単位以上を修得
	建設材料	2	2			○			
	水理学	2	2			○			
	水理学演習	2	2				○		
	土质地質学	2		2		○			
	構造解析演習	2		2			○		
	土木構造力学Ⅱ	2	2			○			
	土木製図基礎	2	2				○		
	コンクリート工学Ⅰ	2	2			○			
	地盤工学Ⅰ	2	2			○			
	測量学Ⅰ	2	2			○			
	水文学	2	2			○			
	土木景観工学	2		2		○			
	プロジェクト演習A	3	2					☆	
	コンクリート工学Ⅱ	3	2			○			
	鋼構造学	3	2			○			
	地盤・材料実験	3	2					◎	
	測量実習Ⅰ	3	2					◎	
	地盤工学Ⅱ	3		2		○			
	河川工学	3		2		○			
	環境水質工学	3		2		○			
	国土・環境計画	3		2		○			
	交通計画	3		2		○			
	プロジェクト演習B	3	2					◎	
	防災工学	3	2			○			
	水・環境実験	3	2					◎	
	コンクリート工学Ⅲ	3		2		○			
	構造物設計論	3		2		○			
	維持管理工学	3		2		○			
地域・都市計画	3		2		○				
水環境工学	3		2		○				
建設マネジメント	3		2		○				
測量学Ⅱ	3		2		○				
測量実習Ⅱ	3		2				◎		
構造耐震工学	4		2		○				
小計(52科目)	—	54	54			—		78単位	
合計(101科目)	—	78	128			—		130単位	
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。								

(建築都市プログラム)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
学群 共通科目	建築都市環境工学概論Ⅰ	1	2			○			必修7科目18単位を含む26単位以上を修得
	建築都市環境工学概論Ⅱ	1	2			○			
	環境の科学	1	2			○			
	図学デザイン	1	2				◎		
	構造力学基礎	1	2			○			
	情報処理技術概論	1	2			○			
	循環システム工学	2		2		○			
	デザイン史Ⅰ	2		2		○			
	情報メディアデザイン	2		2		○			
	空間造形基礎	2		2			◎		
	人間工学基礎	2		2		○			
	景観・環境基礎論	2		2		○			
	建設産業と生産	2		2		○			
	計画数理	2		2		○			
	生活空間デザイン基礎	2		2		○			
	プロダクトデザイン基礎	2		2		○			
	卒業研究	4		6				☆	
専門教育科目	建築設計基礎	2	2					◎	必修17科目34単位を含む52単位以上を修得
	建築設計Ⅰ	2	2					◎	
	建築設計Ⅱ	3	2					◎	
	建築計画Ⅰ	2	2			○			
	建築計画Ⅱ	2	2			○			
	建築史Ⅰ	2	2			○			
	都市デザイン	2		2		○			
	建築環境工学Ⅰ	2	2			○			
	建築環境工学Ⅱ	2	2			○			
	建築設備Ⅰ	3	2			○			
	都市環境計画Ⅰ	3		2		○			
	建築材料	2	2			○			
	建築構造力学Ⅰ	2	2			○			
	建築構造力学Ⅱ	2		2		○			
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	2	2			○			
	鋼構造Ⅰ	2	2			○			
	建築設計Ⅲ	3		2				◎	
	建築設計Ⅳ	4		2				◎	
	建築計画実験	3		2				◎	
	建築環境実験	3		2				◎	
	建築構造実験	3		2				◎	
	建築計画特論	4		2		○			
	建築環境特論	4		2		○			
	建築構造特論	4		2		○			
	建築史Ⅱ	3	2			○			
	パウビオロジーⅠ	2		2		○			
	パウビオロジーⅡ	2		2		○			
	建築計画Ⅲ	3		2		○			
	都市環境計画Ⅱ	3		2		○			
	環境デザイン	3		2		○			
	空気環境学	3		2		○			
	建築音響学	3		2		○			
	建築設備Ⅱ	3		2		○			
	建築法規	3	2			○			
建築構法	2	2			○				
建築構造計画	2		2		○				
建築構造力学Ⅲ	3		2		○				
鉄筋コンクリート構造Ⅱ	3		2		○				
鋼構造Ⅱ	3		2		○				
地盤・建築基礎構造	3		2		○				
耐震工学	3		2		○				
建築施工	3	2			○				

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
	建築マネジメント	2		2		○			
	防災まちづくり	3		2		○			
	建築インターンシップ	3		2				◎	
	ランドスケープ特論	4		2		○			
小計 (63科目)		—	52	78		—			78単位
合計 (112科目)		—	76	152		—			130単位
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。								

(工学デザインプログラム)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
学群共通科目	建築都市環境工学概論Ⅰ	1	2			○			必修7科目18単位を含む26単位以上を修得
	建築都市環境工学概論Ⅱ	1	2			○			
	環境の科学	1	2			○			
	図学デザイン	1	2				◎		
	構造力学基礎	1	2			○			
	情報処理技術概論	1	2			○			
	循環システム工学	2		2		○			
	デザイン史Ⅰ	2		2		○			
	情報メディアデザイン	2		2		○			
	空間造形基礎	2		2			◎		
	人間工学基礎	2		2		○			
	景観・環境基礎論	2		2		○			
	建設産業と生産	2		2		○			
	計画数理	2		2		○			
	生活空間デザイン基礎	2		2		○			
	プロダクトデザイン基礎	2		2		○			
	卒業研究	4	6					☆	
専門教育科目	工学デザイン実習Ⅰ	2	2					◎	必修3科目6単位並びに工学デザイン実習Ⅲa～cから1科目2単位、工学デザイン実習Ⅳa～cから1科目2単位及び工学デザイン実習Ⅴa～cから1科目2単位を含む52単位以上を修得
	工学デザイン実習Ⅱ	2	2					◎	
	工学デザイン実習Ⅲa	3		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅲb	3		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅲc	3		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅳa	3		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅳb	3		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅳc	3		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅴa	4		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅴb	4		2				◎	
	工学デザイン実習Ⅴc	4		2				◎	
	工学デザイン実験	3		2				◎	
	工学デザインワークショップ	3		2				◎	
	デザイン史Ⅱ	2		2		○			
	建築情報学Ⅰ	3		2		○			
	建築情報学Ⅱ	3		2		○			
	住空間構成論	3		2		○			
	住空間意匠論	4		2		○			
	スペーステクトニクス	3		2		○			
	集合住宅デザイン論	3		2		○			
	プロダクトデザイン応用	3		2		○			
	造形基礎デザインⅠ	2		2		○			
	造形基礎デザインⅡ	2		2		○			
	建築CAD	3		2		○			
	プロダクトCAD	3		2		○			
	モビリティデザイン	3		2		○			
	人間工学	3		2		○			
	認知心理デザイン学	3		2		○			
	公害防止と電気保守	2		2		○			
	生産工学	3		2		○			
	メディア文化論	2		2		○			
	プログラミング	2		2		○			
	メディア伝送技術	3		2		○			
デジタル情報処理	3		2		○				
サウンドプログラミング	3		2		○				
クリエイティブコーディング	3		2		○				
グラフィックデザイン	2		2		○				
インターンシップ	3		2				◎		
工学デザインプロジェクト	3	2			○				
小計(56科目)	—	24	92			—		78単位	
合計(105科目)	—	48	166			—		130単位	
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。								

3 情報・生命工学群
(情報システムプログラム)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
学群共通科目	情報・生命工学概論Ⅰ	1	2			○			必修5科目16単位を含む26単位以上を修得
	情報・生命工学概論Ⅱ	1	2			○			
	情報・生命基礎実習	1	2					◎	
	プログラミング言語・演習	1	4			○	○		
	医学概論	2		2		○			
	数値解析	2		2		○			
	情報基礎数学Ⅰ	2		1			◎		
	生体分子化学	2		2		○			
	解剖生理学	2		2		○			
	論理回路	2		2		○			
	分析化学	2		2		○			
	情報ネットワーク	2		2		○			
	バイオインフォマティクス	2		2		○			
	情報基礎数学Ⅱ	2		1			◎		
	バイオ統計	2		2		○			
	卒業研究	4	6					☆	
専門教育科目	計算機構成	2	2			○			必修10科目27単位を含む52単位以上を修得
	プログラミング言語・演習Ⅱ	2	4			○	○		
	数理論理学	2	2			○			
	生物物理の基礎	2		2		○			
	分子生物学の基礎	2	2			○			
	生命情報の統計学演習Ⅰ	2	2				◎		
	離散数学・同演習	2	3			○	◎		
	データ構造とアルゴリズム	2	2			○			
	プログラミング言語・演習Ⅲ	2	4			○	○		
	情報基礎数学Ⅲ	2		2		○			
	データベース	2		2		○			
	シミュレーション工学	2		2		○			
	コンピュータアーキテクチャ	2		2		○			
	生物情報解析・演習	3		2			○		
	代数系	3		2		○			
	プログラミング言語・演習Ⅳ	3	4			○	○		
	数理計画	3		2		○			
	オートマトンと形式言語	3		2		○			
	オペレーティングシステム	3		2		○			
	コンピュータグラフィックス	3		2		○			
	データマイニング	3		2		○			
	医療情報システムⅠ	3		2		○			
	生命情報の統計学演習Ⅱ	3		2			○		
	情報セキュリティ	3		2		○			
	バイオシミュレーション	3		2		○			
	遺伝情報学	3		2		○			
	分子生物学	3		2		○			
	ソフトウェア工学	3		2		○			
	並列分散処理	3		2		○			
	コンパイラ	3		2		○			
計算理論	3		2		○				
機械学習	3		2		○				
ソフトコンピューティング	3		2		○				
医療情報システムⅡ	3		2		○				
オーミクス論	3		2		○				
細胞生物学	3		2		○				
ゼミナール	3	2				○			
小計 (53科目)	—	43	74			—		78単位	
合計 (102科目)	—	67	148			—		130単位	
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。								

(医工学プログラム)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
学群共通科目	情報・生命工学概論Ⅰ	1	2			○			必修5科目16単位を含む26単位以上を修得
	情報・生命工学概論Ⅱ	1	2			○			
	情報・生命基礎実習	1	2					◎	
	プログラミング言語・演習	1	4			○	○		
	医学概論	2		2		○			
	数値解析	2		2		○			
	情報基礎数学Ⅰ	2		1			◎		
	生体分子化学	2		2		○			
	解剖生理学	2		2		○			
	論理回路	2		2		○			
	分析化学	2		2		○			
	情報ネットワーク	2		2		○			
	バイオインフォマティクス	2		2		○			
	情報基礎数学Ⅱ	2		1			◎		
	バイオ統計	2		2		○			
卒業研究	4	6					☆	必修13科目31単位を含む52単位以上を修得	
専門教育科目 専門科目	電気回路	2	2			○			
	医工学基礎演習Ⅰ	2	1				◎		
	医工学プログラミング演習	2	4				○		
	生体情報工学	2		2		○			
	電磁気学	2		2		○			
	電子回路	2	2			○			
	電気・電子回路実習	2	3						◎
	生体計測工学	2	2			○			
	医工学基礎演習Ⅱ	2	1				◎		
	機能解剖学	2	2			○			
	制御工学	2		2		○			
	情報・通信論	2		2		○			
	機械工学	2		2		○			
	組込みシステム	3		2		○			
	信号処理	3	2			○			
	生理学実習	3	3						◎
	組込みシステム実習	3	3						◎
	脳神経工学	3		2		○			
	医用光学	3		2		○			
	先端工学	3		2		○			
	ロボティクス	3		2		○			
	生体電磁波工学	3		2		○			
	医工学プロジェクト	3	4						◎
	ゼミナール	3	2				○		
	福祉工学	3		2		○			
医用画像工学	3		2		○				
医用機器工学	3		2		○				
CAD	3		2		○				
バイオメテイクス	3		2		○				
リハビリテーション学	4		2		○				
保健技術学	4		2		○				
知能情報学	4		2		○				
小計(48科目)	—	47	58			—		78単位	
合計(97科目)	—	71	132			—		130単位	
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。								

(生物応用プログラム)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数			授業形態			卒業要件	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
学群共通科目	情報・生命工学概論Ⅰ	1	2			○			必修5科目16単位を含む26単位以上を修得	
	情報・生命工学概論Ⅱ	1	2			○				
	情報・生命基礎実習	1	2					◎		
	プログラミング言語・演習	1	4			○	○			
	医学概論	2		2		○				
	数値解析	2		2		○				
	情報基礎数学Ⅰ	2		1			◎			
	生体分子化学	2		2		○				
	解剖生理学	2		2		○				
	論理回路	2		2		○				
	分析化学	2		2		○				
	情報ネットワーク	2		2		○				
	バイオインフォマティクス	2		2		○				
	情報基礎数学Ⅱ	2		1			◎			
	バイオ統計	2		2		○				
	卒業研究	4	6					☆		
	専門教育科目	有機化学Ⅰ	2	2			○			必修15科目38単位を含む52単位以上を修得
		有機化学Ⅱ	2		2		○			
		微生物学	2	2			○			
		物理化学	2		2		○			
		生化学	2	2			○			
		生物工学実験Ⅰ	2	4					☆	
		生物工学実験Ⅱ	2	4					☆	
		分子生物学	3	2			○			
		細胞生物学	3	2			○			
		遺伝子工学	3	2			○			
		生物有機化学	3		2		○			
		生物情報解析・演習	3	2				○		
		機器分析	3		2		○			
		生物化学工学	3		2		○			
植物生理学		3	2			○				
植物栄養学		3		2		○				
食品栄養化学		3		2		○				
食品製造学		3		2		○				
機能性食品学		3		2		○				
微生物利用学		3		2		○				
微生物生理学		3		2		○				
糖質化学		3		2		○				
免疫学		3		2		○				
公衆衛生学・関係法規		3	2			○				
脳神経工学		3		2		○				
バイオ技術英語		3	2			○				
ゼミナール		3	2			○				
生物工学実験Ⅲ	3	4					☆			
生物工学実験Ⅳ	3	4					☆			
小計(45科目)		—	54	48			—	78単位		
合計(94科目)		—	78	122			—	130単位		
備考	・授業形態の欄の○は1単位当たり15時間、◎は1単位当たり30時間、☆は1単位当たり45時間の授業とする。									